

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

15016

隣保館運営事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	8	人権尊重・男女共同参画の推進
施策	1	人権が尊重される社会づくり
取組方針	2	人権相談・支援の充実

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計			
	款			
	項			
	目			
	大事業 中事業			

事業種別	継続		関連個別計画				
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	人権同和施策課	平尾 朱美	435-1058
事業実施の根拠法令			関連課				

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要				
	<p>歴史的、社会的理由により、生活環境の安定が阻害されている地域住民に対し、生活上の各種相談事業等を総合的に行うとともに、国民的課題である同和問題のすみやかな解決に資することを目的とする事業である。また、隣保館における各種講座、サークル活動等への周辺地域住民の参加を促すことにより、相互理解を養い、同和問題に対処する理解と認識を高める。</p>		<p>会館事業として、識字教室、生け花教室、書道教室、ペン習字教室開催 生活上の各種相談事業 図書閲覧・貸出 敬老会等交流事業</p>				
事業内容			平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
			<p>上記隣保館運営事業</p> <p>1 会館事業 3,237件 28,034人</p> <p>2 図書閲覧&貸出 1,744人</p> <p>3 各種交流催し 12件</p>	<p>上記隣保館運営事業</p> <p>1 会館事業 2,905件 25,086人</p> <p>2 図書閲覧&貸出 1,714人</p> <p>3 各種交流催し 12件</p>	<p>上記隣保館運営事業</p> <p>1 会館事業 2,469件 16,540人</p> <p>2 図書閲覧&貸出 1,301人</p> <p>3 各種交流催し 12件</p>	<p>上記隣保館運営事業</p> <p>1 会館事業 3,650件 40,000人</p> <p>2 図書閲覧&貸出 2,000人</p> <p>3 各種交流催し 12件</p>	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度		令和04年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	61,637	53,861	82,231	73,080	63,856	52,174	57,602	0	0	0
伸び率(%)	4.1%	3.8%	33.4%	35.7%	△22.3%	△28.6%	△9.8%	△100%	△100%	0%
人件費	正規職員	251,029	246,634	245,325	245,325	223,335	223,335	201,598	201,598	201,598
	正規職員以外	24,892	25,272	24,127	24,127	29,894	29,894	42,875	42,875	42,875
	小計	275,921	271,906	269,452	269,452	253,229	253,229	244,473	244,473	244,473
国庫支出金	11,907	12,012	15,665	14,287	13,374	11,482	12,859	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	8,900	8,500	0	0	0	0	0	0
その他	16	15	17	451	17	17	60	0	0	0
一般財源(税等)	49,714	41,834	57,649	49,842	50,465	40,675	44,683	0	0	0
所要人数(人)	正規職員	31.41	30.86	30.46	30.46	28.05	28.05	25.32	25.32	25.32
	正規職員以外	10.50	10.66	10.50	10.50	13.03	13.03	15.23	15.23	15.23
主な予算内訳	報償金 15,709、光熱水費 13,359、所々修繕料 3,125、管理委託料 3,347、庁用器具費 445(千円)									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	令和04年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
会館数		館	目標値	12	12	12	12	
			実績値	12	12	12		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
開館日数		日	目標値	292	292	293	293	
			実績値	292	292	293		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
利用人数		人	目標値	70,000	70,000	70,000	70,000	
			実績値	50,871	44,816	30,410		
			達成度(%)	72.7%	64.0%	43.4%	%	%
			目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	
図書貸出人数		人	実績値	412	366	229		
			達成度(%)	41.2%	36.6%	22.9%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	隣保館は、社会福祉法や国要綱では、地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点となる開かれたコミュニティーセンターとして生活上の各種相談事業や人権課題の解決のための各種事業を総合的に行うものとされており、文化会館の事業や行事、貸館事業においても、多数の参加、利用がある。
見直し・改善内容	各種教室や講演、行事について、ニーズに沿った内容の充実、PRの方法を工夫するなど、より一層多くの方々に来ていただけるよう努める。